

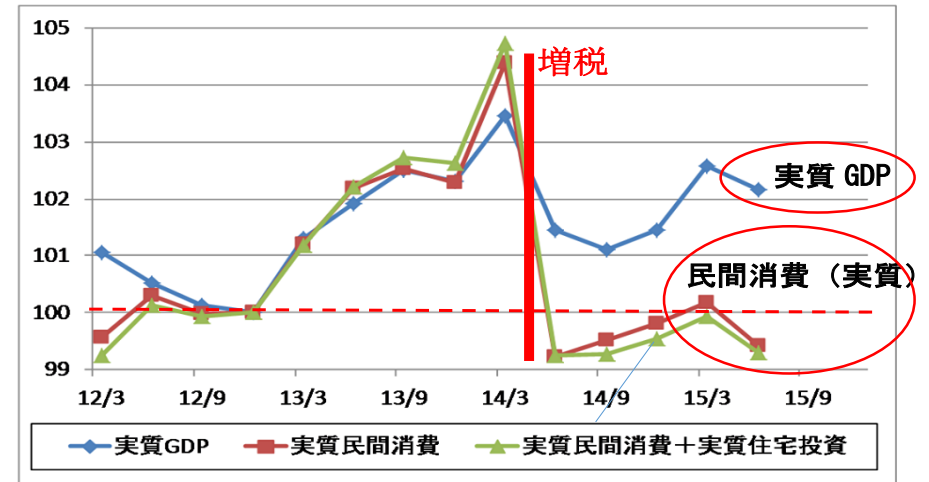
日本経済を守るためには、
10兆円規模の補正予算が必要です

～2020年、戦後最大の経済を目指して～

内閣官房参与 藤井聡

増税ショック＋中国ショックに対して、 「補正の議論」が巻き起こっている。

【四半期GDP統計・各項目の推移(季節調整値。2012年10-12月期=100)】



※出所: 内閣府

■ **4-6月期の実質GDPは年率-1.6%!**

(消費・住宅投資も大いにマイナス ⇒)

■ (7月に指摘していたように) 上海株安→人民元切り上げ
⇒アジアを中心に**景気減速が世界的に拡大!**



■ **にわかに各方面から「緊急補正」の声が拡大!**

本田内閣官房参与 「3兆-3兆5000億円の**経済対策が必要だと指摘**。」(Bloomberg, 2015/08/18)

高橋洋一教授 「**秋は大型の補正予算が必要.....やるかやらないかは、安倍首相次第**」(現代ビジネス2015/8/24))

濱田内閣官房参与 「雇用情勢が悪化するような事態になれば金融緩和や財政措置などの**対応が必要**」
(ロイター、2015.8.26)

山口公明党代表 「最近の世界的な株安傾向を踏まえ「**補正予算をどう生かすかも含め、対応を議論することが重要だ**」」(産経ニュース、2015.8.27)

「増税ショック」対策だけで、5兆円は必要

■ 昨年の補正予算は「3兆円」。

にも関わらず、今年の4-6月期はマイナス成長。

■ 「増税ショック」は、数か年は継続。

(※ むしろ、増税後2年、3年と経過するほど、悪影響が蓄積していくことが、マクロシミュレーションで知られている。)



■ 増税ショックへの対策だけで、少なくとも5兆円は必要。

中国ショック対策にもやはり、**5兆円**は必要

■「中国ショック」は、日本からの輸出の低迷を導く。

(理由1)「人民元引き下げ」⇒(相対的)円高 ⇒ 日本の輸出低迷

(理由2)「人民元引き下げ」⇒(アジア等)諸外国の景気低迷 ⇒ 日本の輸出低迷

(理由3)世界同時株安 ⇒(アジア等)諸外国の景気低迷 ⇒ 日本の輸出低迷

■リーマンショック時、日本の輸出は27兆円減少 (81⇒54兆円)

現在72兆円の輸出は、5～20兆円程度の縮小は想定できる。



■中国ショックへの対策だけで、少なくとも5兆円は必要。

だから....

増税ショック対策の(少なくとも)5兆円

中国ショック対策の(少なくとも)5兆円

あわせて(少なくとも)10兆円の補正予算が、

日本経済の凋落を避けるためには必要不可欠！

(これがなければ、「2020年戦後最大の経済」の実現は不可能)

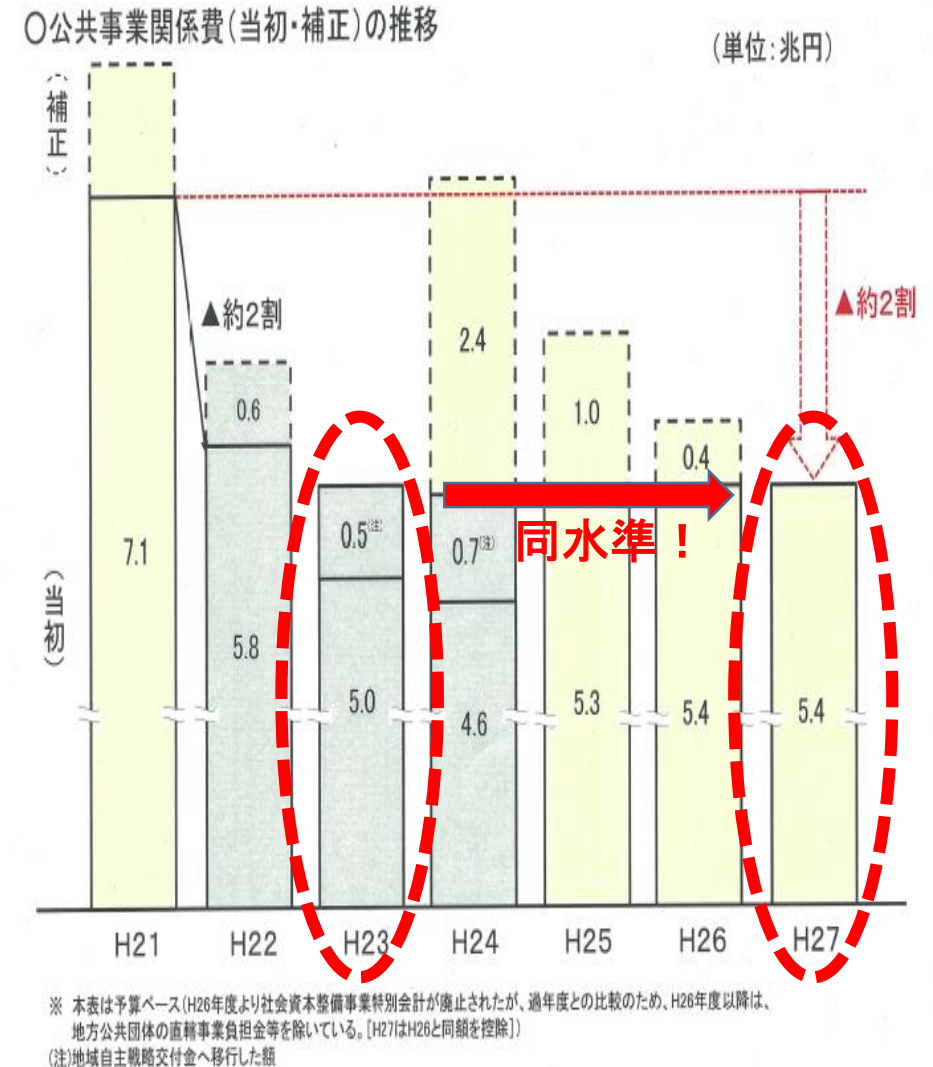
注意事項！

- ただし、「毎年のPB削減」を掲げていれば、この補正は実現できない。
- だから、2018年のPB改善のために、(一時的なPBの悪化を許容し)2017年は大型補正を組む、という態度が必要。
- **あるいは**、PB目標を取り下げ、やはり「債務対GDP比」目標に変えて、その旨をG7に通告し、これを機会に国際公約化できれば、より柔軟な対応が可能。
- さらに、この「財出作戦」を、世界危機対策ということで、アメリカと共同対策できれば、より強力！

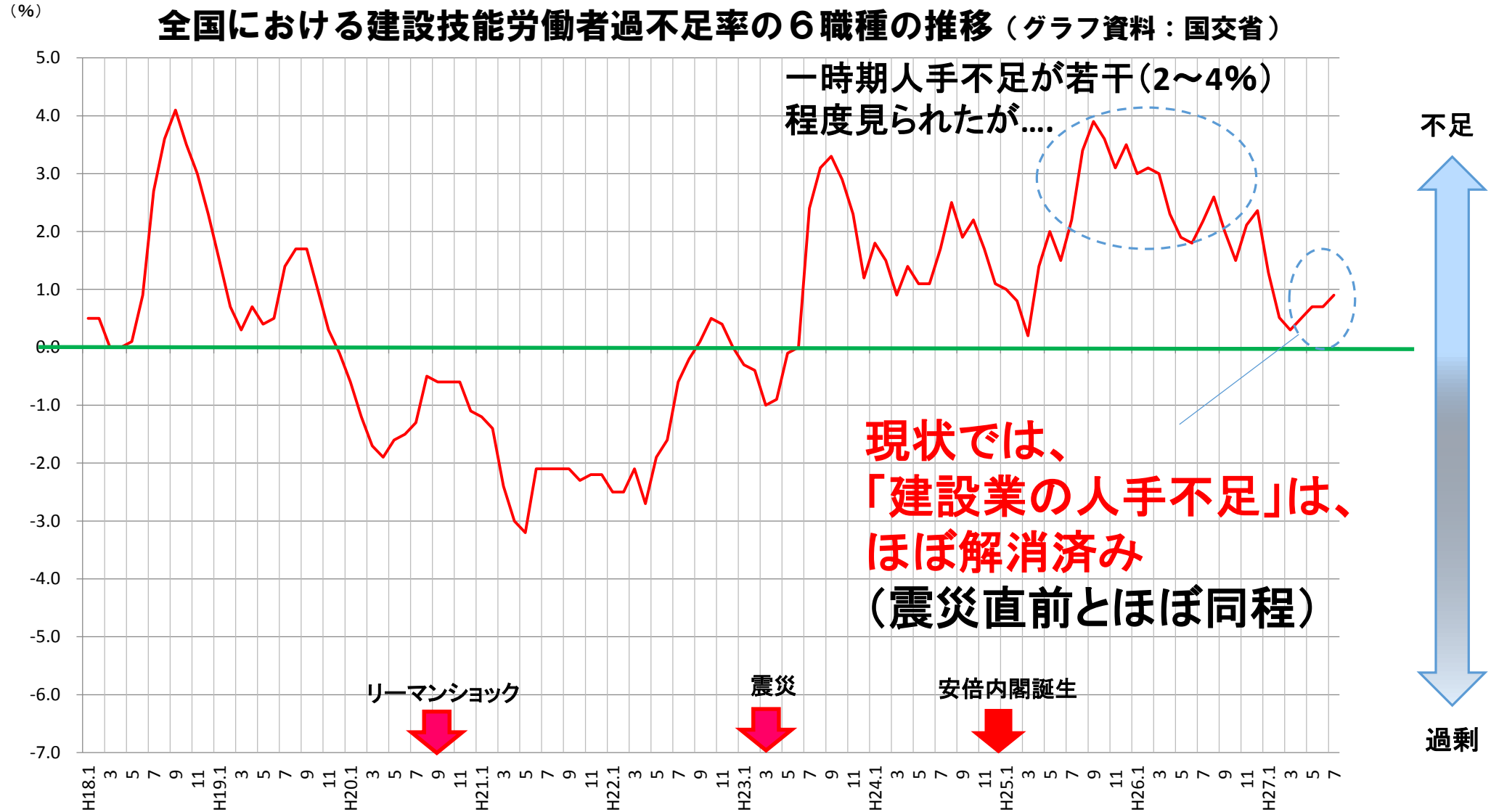
支出項目は、「ワイズスペンディング」を

- ただし、下記項目は、極めて合理的
 - **リニア**の大阪東京同時開業
 - 整備**新幹線**の早期整備
 - ⇒ 新線調査(北陸、四国等)
 - **パイプライン**の整備補助
 - **スーパー中枢港湾**の国際競争力強化
 - **国際空港**の国際競争力強化

- なお、もしも今回「公共投資」がなければ、公共事業費の水準は「**コンクリートから人へ**」をうたった、**民主党政権**とほとんど**同水準**にまで凋落している。今、**建設現場は再び、まさに「冬の時代」に立ち戻ろうとしている。**



参考：「建設業の人手不足」はほぼ解消済み（震災直前の水準と同程度）



出典：労働需給調査(国土交通省)

※「6職種」とは、型枠工(土木)、型枠工(建築)、左官、とび工、鉄筋工(土木)、鉄筋工(建築)をいう。

※調査対象は建設業法場の許可を受けた法人企業(資本金300万円以上)で、調査対象職種の労働者を直用する建設業者のうち全国約3,000社(うち有効回答者数1,716(H27.7の場合))

※現在の過不足状況調査事項：モニター業者が手持ち現場において①確保している労働者数、②確保したが出来なかった労働者数、③確保したが過剰となった労働者数

過不足率 = $\frac{((2)-(3))}{(1)+(2)} \times 100$